

これまでに心臓血管外科で開胸手術を受けた患者さんへ

【過去の治療記録／検体(血液・尿)結果の調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院腎臓内科では「開胸手術後の急性腎障害発症の予測因子の検討」という臨床研究を行っております。この研究は、開胸手術後の急性腎障害（AKI）発症の新たな予測因子を同定することを主な目的としています。

そのため、過去に当院心臓血管外科で開胸手術を受けた患者さんのカルテ等の治療記録／検体(血液・尿)結果を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間：平成2017年1月4日～平成2018年3月31日まで

対象調査期間：平成2013年1月1日～平成2016年12月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに当院心臓血管外科で開胸手術の治療を受けた患者さんのカルテ、検体(血液・尿)結果です。

○過去の治療記録／検体(血液・尿)結果を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。

○調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は松山赤十字病院に帰属し、あなたには帰属しません。

○この調査研究は、松山赤十字病院腎臓内科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

松山赤十字病院 腎臓内科 副部長 岡 英明

研究責任者：

TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)